

情報公開文書

西暦 2025年 8月 5日作成

項目		
試料・情報の 利用目的及 び利用方法	研究課題名	慢性腎臓病患者におけるエンパグリフロジン貧血改善効果に関する検討
	研究対象者	当院において2024年1月～2024年12月にエンパグリフロジンが開始された患者
	研究目的	SGLT2阻害薬であるエンパグリフロジン(以下EMPA)は2型糖尿病や慢性心不全治療薬として使用されてきたが、2024年2月、慢性腎臓病の適応が新たに追加された。EMPAは慢性心不全患者における貧血改善効果が報告されているが、慢性腎臓病患者における貧血改善効果の報告はまだ少ない。そこで慢性腎臓病患者におけるEMPA貧血改善効果について調査する。
	研究方法	電子カルテで後方視的に調査する
	個人情報保護	対象となる患者さんの診療情報には個人情報が含まれますが、氏名や住所などの情報を削り、容易に個人を特定できないように研究用の番号(識別コード)で管理します。個人と識別コードを照合できるようにする対応表を作成しますが、鍵をかけて厳重に保管し、院外へ提供することはありません。
	研究期間	2025年8月5日～2025年12月31日
利用する試料・情報の項目		年齢、性別、処方診療科、薬歴、臨床検査値
試料・情報を利用する者の範囲	当院研究責任者	済生会横浜市南部病院 薬剤部 奥村 梨央
	共同研究者	済生会横浜市南部病院 薬剤部 田辺 真里 高山 直也 出 千紘 細田 菜摘 加藤 一郎
試料・情報の利用停止および情報公開に関する窓口		済生会横浜市南部病院 薬剤部 奥村 梨央 連絡先 045-832-1111 利用停止のお申し出は研究終了日までにはお願いします ただし、お申し出いただいた時にすでにデータが固定され、研究成果が論文などで公表されていた場合には、患者さんのデータを廃棄できない場合があります